

人間と文化

誰でもプログラミングI (秋ターム)

授業概要

情報社会における学問の基礎力として、コンピュータと会話するプログラミングについて学ぶ。初歩から始め、課題の解決を通して、実践的に学ぶ。

本講義では、オブジェクト指向型のプログラミング言語として、原則、Rubyを用いる。

Rubyは、日本発の代表的なプログラミング言語で、オープンソースとして、世界中で広く使われている。

到達目標

初心者を中心に、プログラミングの基本から始め、簡単な応用課題に挑戦し解決する。応用課題の内容は、例示するが、原則、先生と相談して決める。

プログラミングの基礎としての到達目標は以下の通りである。

- 1) 判断分岐、繰り返し等の処理を適切に行えるようになる。
- 2) 課題に合わせたプログラミングを自立的に思考できるようになる。
- 3) アルゴリズムについて学び、問題解決の方法が一通りではないことを学ぶ。

担当教員 *teacher in charge*

布施 泉

情報基盤センター 教授

授業計画

- 1) 基礎課題を通してプログラミング言語に慣れる。
- 2) 指定された基礎課題を解決し、その結果を提出する。
- 3) 提示されたミニ応用課題を解決し、その結果を提出する。

成績評価

成績評価は、授業回数の7割以上出席した者について、積極的な学習態度（出席状況を含む）（20%）、課題提出（60%）、ミニ応用課題に関するプログラムとレポート(20%)に基づいて行う。それぞれの項目により到達目標の達成度を評価する。

なお、「A+」は履修者数の上位5%以内を目安とする。